【用	_	1]	
			不具合整理No. 48F-12-002
1	品質異常改善通知書		担当課 生産 2 - 1
1	下記の製品は得意先検査の結果、不合格となりまり 再発防止の為対策を記入の上、指定回答日までにJ		
		特光的正の為対象を能入の主、指定回答日までに 発生原因 生産課:	
	ᄝ		777.70
丕	品質保	指定回答日: 2016年12月 09 日 流出原因 生産課:	101202
묽	保証		字真·図
不具合内容	課	品名 BB35C-PLT40AA3-560E-DLF	
容	に	ロットN o 16.11.20.1.E.0036	1 / 1
	^	对象数量 40,000個	
1	l	不具合内容及び確認内容	
1		成形時良品率低下(良品率:70~77%)	
1		端子トライ未実施品	
l			
<u> </u>	_	異常品の暫定処理 確認中	7% U. A. 144
ı	牛角	発生原因	発生対策 (誰が、いつまでに何を、どうする)
l		現物現実の確認·加工状況·加工履歴·変化点の確認)	
			】型E降3Cな際は、ツザモ-KLト*試験
ļ	けせ	発生したのかを3回繰り返して真の発生原因を掴む)	\$3.
	4	型を降みた。(州作か小修正)	
		生 (19717 (1977 1977)	
i		I	
	4	りんたんなつもりにちは関めてもからかちかたな	
1	'	Yがからかで製品に直接関める部分であった為モルド試画定出て引し生産にな。	
1		4-10人就的发出了11上生性Ch.	
	Ι.	大きく変化した寸法もなかちのこを品と判断して	
		•	
ı	1	建定してまっち、	対策実施日: [6 年][月2cf 日 承 認 確 認 担 当
1			対策支援の計略 16、11、2年、1、F、0 金子 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12
		合可,生產日: 年 月 日	(本の場合 対象的以名の1) 16.14.24.3 10.14.24.3
起田	金型	番号: P6353	() / xx
略	进 番	流出原因	24.4.4.1
量記			流出対策
[뜻		直課 部現 々 現実の確認・履歴・変化点の確認)	(誰が、いつまでに何を、どうする)
1 / \			(離が、いつまでに何を、どうする) 問題ないなろうと思わず、型を降えれらモールム
^	Œ填	現々現実の確認・履 歴・変化点の確認)	(離かいつまでに何きとうする) 問題ないだろうと思わず、型を降れれらモール人 試験をと出す。又は電話(22モニヨん
^	Œ填	・現存現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む)	(離が、いつまでに何を、どうする) 問題ないなろうと思わず、型を降えれらモールム
^	領場 (ナゼ	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 一生で10名30年	(離放いのまでに何をとうする) 問題ないだろうで思わず、型を降れれらモール人・ 就験を出す。又は電話(22モニヨル 確認を取る、
	(現場 (ナゼ	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 一生で10名30年	(離放いのまでに何をとうする) 問題ないだろうで思わず、型を降れれらモール人・ 就験を出す。又は電話(22モニヨル 確認を取る、
	けせ	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 型を12条3(たこ) しいに試写を出さなければならなからか、サルイカートの修正の色に引起ないと 「勝をん判断してしまった」	(誰がいつまでに何をどうする) 問題ないなろうと思わず、型を降孔れらモール人 言式更を出す。又は電話(22モ 上可ん で容認を取る。 対照実施日: 16年 11月2年日 承 記 確 記 担当 対策実施田: 16年 11月2年日 承 記 確 記 担当
	けせ	現有現実の確認・履際・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 型をP各3(た。 -(1人) 試験出さなければならなかれたサイドか小の終記の為問題かと 」 勝分り判断してしまった。 本出中の幸ご上引が下在で、急ぎと言う発生変なって	(誰がいつまでに何を、どうする) 門間起ないなろうと思わず、型を降れれらモール人 言式をを出す。又は電話(22モ 上可ん で容認を 取る。 対策末端日: 16年 11月2年日 承 認 確 認 担 当 対策末端ロ: 16年 11月2年日 (161222) 1512 22 (161222)
	けせ	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 型を12条3(たこ) しいに試写を出さなければならなからか、サルイカートの修正の色に引起ないと 「勝をん判断してしまった」	(離がいつまでに何をどうする) 門品路ないなろうで思わず、型を降孔れらモール人できず見を出す。又は電話(22年上司んでおきにで 取る。 対策末端日: 16年11月2年日 承認 曜 日 担当 対策末端日: 16年11月2年11年2日
	明 任 化 化 日 一	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) ・型をり各3(た。 ・しん・試真を出さなければならなかれか、サ作れ小の修正の無問題から、 ・ 勝分り利断してします。 ・ 本出中の妻でよるが、不在で、急ぎと言う再生重なって ・ 「何の判断でを雇してします。	(誰がいつまでに何を、どうする) 門間距ないなろうと思わず、型を降孔れらモール人 言式原を出す。又は電話(22モ ヒヨル で容認を 取る。 対策末端日: 16年 11月2年日 承認 確認 担当 対策末端ロ: 16年 11月2年日 (161222) 151222 (151222) 151222
	明 任 化 化 日 一	現有現実の確認・履際・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 型をP各3(た。 -(1人) 試験出さなければならなかれたサイドか小の終記の為問題かと 」 勝分り判断してしまった。 本出中の幸ご上引が下在で、急ぎと言う発生変なって	(雑がいつまでに何を、どうする) 門別題ないなろうで思わず、型を降孔れらモール人 言式見をとかず、又は電話(22年上ヨル 石容記を月久ろ、 対策実施日: 16年 11月2年日 承 認 確 認 担 当 対策実施日: 16年 11月2年日 承 認 確 認 担 当 対策実施日: 16年 11月2年 1161222 12161222 12161222 221 161222 221 161222 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22
	はせ を 付日 一明年	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) ・ できり各るした。 ・ しん 試写定出さなければならなかれた。サイドれいの修正の為、問題ないと ・	(雑がいつまでに何を、どうする) 門別題ないなろうで思わず、型を降孔れらモール人 言式見をとかず、又は電話(22年上ヨル 石容記を月久ろ、 対策実施日: 16年 11月2年日 承 認 確 認 担 当 対策実施日: 16年 11月2年日 承 認 確 認 担 当 対策実施日: 16年 11月2年 1161222 12161222 12161222 221 161222 221 161222 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22
	はせ を 付日 一明年	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) ・型をり各3(た。 ・しん・試真を出さなければならなかれか、サ作れ小の修正の無問題から、 ・ 勝分り利断してします。 ・ 本出中の妻でよるが、不在で、急ぎと言う再生重なって ・ 「何の判断でを雇してします。	(雑がいつまでに何を、どうする) 門別題ないなろうで思わず、型を降孔れらモール人 言式見をとかず、又は電話(22年上ヨル 石容記を月久ろ、 対策実施日: 16年 11月2年日 承 認 確 認 担 当 対策実施日: 16年 11月2年日 承 認 確 認 担 当 対策実施日: 16年 11月2年 1161222 12161222 12161222 221 161222 221 161222 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22
,	はせ を 付日 一明年	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) ・ できり各るした。 ・ しん 試写定出さなければならなかれた。サイドれいの修正の為、問題ないと ・	(雑がいつまでに何を、どうする) 門別題ないなろうで思わず、型を降孔れらモール人 言式見をとかず、又は電話(22年上ヨル 石容記を月久ろ、 対策実施日: 16年 11月2年日 承 認 確 認 担 当 対策実施日: 16年 11月2年日 承 認 確 認 担 当 対策実施日: 16年 11月2年 1161222 12161222 12161222 221 161222 221 161222 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22
	はせ を 付日 一明年	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) ・ できり各るした。 ・ しん 試写定出さなければならなかれた。サイドれいの修正の為、問題ないと ・	(誰が、いつまでに何を、どうする) P問題ないなろうで思わず、型を降孔ならモール人できずりをと出す。又は電話(22年上司んできたと 万久ろ、 対策末端のけん [6] 22日 承 認 確 認 担 当 対策末端のけん [6] 11, 24、「下、01 金子 水平原明の有・無 (市の場合、対象製品名文は図書を記入 「16] 1222 「16] 1222 「22 「16] 1222 「16]
,	はせ を 付日 一明年	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) ・ できり各るした。 ・ しん 試写定出さなければならなかれた。サイドれいの修正の為、問題ないと ・	(誰が、いつまでに何を、どうする) P問題ないなるうで思わず、型を降孔ならモール人できずりをと出す。又は電話(22年上司んできたと 万久ろ 対策末端日: 6年 月2年 承認 確認 担当対策末端ロット版 6、11、2年、「一、01金子、平平原明の有・無 (有の場合、対象製品名文は関番を記入 16、1222 21 16、1222 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22
	はせ を 付日 一明年	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) ・ できり各るした。 ・ しん 試写定出さなければならなかれた。サイドれいの修正の為、問題ないと ・	(誰が、いつまでに何を、どうする) PST 配合い た、3うで 兄 中す。 型を 降 記 た エ コ ル で で で で で で で で で で で で で で で で で で
	はせ を 付日 一明年	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) ・ できり各るした。 ・ しん 試写定出さなければならなかれた。サイドれいの修正の為、問題ないと ・	(誰が、いつまでに何を、どうする) 門別 題 ちい な 3 う と 欠 めす 、 型 を 降 孔 な ら モ ール 人 で ま ま し ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま
	明 付 之 付白一明 け	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) ・ できり各るした。 ・ しん 試写定出さなければならなかれた。サイドれいの修正の為、問題ないと ・	(誰が、いつまでに何を、どうする) PST 配合い た、3 うで 欠 中す。 型を 降 記 た エコ ん で で で で で で で で で で で で で で で で で で
######################################	明 け を 付白 明 け 単	現無現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) できり多うした。 しいた。試写定出さなければならなかれた。サイドれいの修正の色、問題ないと 、	(誰が、いつまでに何を、どうする) PST 配合い た、3うで 欠 中す、型を降孔れ 5 モールトーラズ 見食を 上す。 又は 愛き 6 (2 でも 上 可 ん て で き 2 で も 万久 3 と で ま 2 で も 万久 3 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で
相品質	明 け を 付白 明 け 単	現在現実の確認・履歴・変化点の確認 発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む 型を P 名 3 C f で 。 にん 試	は いつまでに何を、どうする) P日 起 ない 大、3 うで 火 中す。 又は 愛きを (2 2 年 上 日 ん でおきた) を か
相品質	現けて から一眼 け 単原	現無現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 型とり今3(f2) 一にたっぱ三段 出さ なければ ならなかれた サバカルの修正の色 151 題 5 いとしまった。 上出 中の まご 上 引 か 不在 ご、 きごときう みき 室 ちっている。 料 断 ご 住庭(フしち) も、 は現を現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む」 「対象を1000円 1100円 110	議が、いつまでに何を、どうする) P日配をか、広ろうで、兄のす。 又は 愛き (2 2 年 上 日 ん
相 品質保証	明 计 之 们 自一明 计 准集原 作	現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 第生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「大きり多う(たった。」 「はられればいった」である。 「関係られればいった」である。 「関係られればいった」である。 「あっぱ」ができた(っしかった。 「現有現実の確認・履歴・変化点の確認) 「現本現実の確認・履歴・変化点の確認) 「現本現実の確認・履歴・変化点の確認) 「現本現実の確認・履歴・変化点の確認) 「現本現実の確認・履歴・変化点の確認) 「現本現実の確認・履歴・変化点の確認) 「現本現実の確認・履歴・変化点の確認) 「現本現実の確認・履歴・変化点の確認) 「本語」 「大きない。「大きない。」 「おいます」では、「ないます」では、「ないます」では、「これ、これでは、「ないます」では、「これ、これでは、「これ、これでは、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、これ、	議が、いつまでに何を、どうする) 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日
	明 计 之 们 自一明 计 准集原 作	現無現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 型とり今3(f2) 一にたっぱ三段 出さ なければ ならなかれた サバカルの修正の色 151 題 5 いとしまった。 上出 中の まご 上 引 か 不在 ご、 きごときう みき 室 ちっている。 料 断 ご 住庭(フしち) も、 は現を現実の確認・履歴・変化点の確認) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む) 「発生したのかを3回繰り返して真の流出原因を掴む」 「対象を1000円 1100円 110	「